

地域の美術館と連携した造形ワークショップの開発と実践

教育学部 教授 藤田英樹 小谷充 講師 野村真弘

美術科教育専攻では毎年、島根県立美術館と連携し、造形活動ワークショップの内容開発と実践を行っています。子どもや親子を対象とした本活動では、地域住民が芸術に親しむ機会を増やし、地元に関連した作家・作品への理解を深め、美術館の利用促進と文化的土壌の醸成を期待しています。また本学生にとっては、実践的な教育経験を通して指導力や企画力を養う貴重な場となります。美術館と大学が協働することで、地域に根ざした教育・文化資源の活用が進み、持続可能な地域連携モデルの構築にもつながります。このような取り組みは、地域社会と教育機関双方にとっての相互発展を促進する意義ある実践だと、専攻として自信を持って取り組んでいます。

